

2020年度決算と事業報告

2021年8月6日に開催されましたダスキン健康保険組合第132回組合会において、2020年度決算および事業報告が議決・承認されましたので、その概要をお知らせします。

健康保険

当健康保険組合の2020年度決算の収入収支差引額は1億9,020万8千円の黒字、經常収支(国庫補助金などを除き概ね保険料収入のみで計算した収支)では1億8,995万6千円の赤字となりました(前年度は2億3,486万8千円の黒字)。これは保険料率を10%から9.8%に変更したことに加え、保険給付費(前年度比106.2%)や、納付金(前年度比127.1%)の上昇によるものです。高齢者の医療を支えるための納付金の増加は、当健康保険組合のみならず、すべての健康保険組合にとって大きな課題となっています。

収入合計は30億5,758万9千円(前年度比106.6%)、支出合計は28億6,738万1千円(前年度比113.3%)でした。支出においてはここ数年来減少傾向であった保険給付費が増加に転じました。医療費の上位を占めるのは、新生物(がん)、循環器系疾患です。特定保健指導などの対象になった方はプログラムに参加いただき、早期発見、早期治療に努めていただきますようお願いいたします。収支差引額の1億9,020万8千円は積立金および繰越金とします。



介護保険

当健康保険組合の介護保険料率は前年度同様の1.85%を維持しました。2020年度の介護納付金は3億6,510万7千円の割当でしたが、2019年度の追加納付1,160万円(納付先の社会保険診療報酬支払基金の計算間違いによるもの)を行ったため、結果として前年度より1,007万3千円多い3億7,670万7千円となりました。

収支差引額は3,606万円、2021年度への繰越金とします。

科目	収入決算額
介護保険収入	3億8,412万3千円
繰越金	2,865万4千円
収入合計	4億1,277万7千円

科目	支出決算額
介護納付金	3億7,670万7千円
介護保険料還付金等	1万1千円
支出合計	3億7,671万7千円

収支差引額	3,606万0千円
-------	-----------

決算の基礎数値 (年間平均)	
第2号被保険者数たる被保険者数	4,492人
平均標準報酬月額	302,085円
保険料率	1.85%
事業主	0.925%
被保険者	0.925%

※介護保険料は40歳以上65歳未満の被保険者から徴収されます。

2021年度予算の変更について

2021年4月発行の「健保だより(santé)」でもご報告しました当健康保険組合の2021年度予算に関し、その後、2021年度に支払うべき納付金(前期高齢者納付金および後期高齢者支援金)の請求額が当初の予算額を大幅に上回ったため予算変更が必要となり、2021年6月30日開催の臨時組合会にて、これに対応する変更予算を承認いただき、近畿厚生局へ報告いたしました。変更内容については表の通りです。

科目	当初予算	変更予算	増減
別途積立金繰入	254,543千円	802,250千円	547,707千円
その他	2,790,945千円	2,790,945千円	0千円
収入合計	3,045,488千円	3,593,195千円	547,707千円

科目	当初予算	変更予算	増減
前期高齢者納付金	515,515千円	1,061,698千円	546,183千円
後期高齢者支援金	589,324千円	590,848千円	1,524千円
その他	1,940,649千円	1,940,649千円	0千円
支出合計	3,045,488千円	3,593,195千円	547,707千円

2020年度 ダスキン健康保険組合が取り組んだ保健事業

2020年度、ダスキン健康保険組合は、引き続き第2期データヘルスで計画策定した健康課題を中心に、組合員お一人おひとりの健康維持・増進のため、医療データと健診データを活用し、健康管理や疾病予防重症化予防などの政策に取り組みました。

※データヘルス計画は医療費データや健診情報等のデータ分析に基づいて、PDCAサイクルで効率的・効果的な保健事業を実践するものです。すべての健康保険組合は2015年度からの実施を国から求められています。

■ 組合員の皆さまに、ご自身の健康状態を知っていただくための事業 ※対象者は2020年4月、実績は2021年3月での人数。

特定健康診査	節目健診	ファミリー健診（特定健診を含む）	受診勧奨
<p><対象> 40～74歳の被保険者・被保険者配偶者・被扶養者</p> <p>生活習慣病や前兆であるメタボの早期発見・改善のため事業主とのコラボヘルスにより定期健康診断時に実施。健保費用で全年齢対象にHbA1c（糖代謝）、腎機能項目（クレアチニン・eGFR）。40歳以上に眼底検査を加えています。</p> <p>※節目健診対象者も含む 対象者：4,703人 受診者：4,454人</p>	<p><対象> 40歳以上3歳刻み（73歳まで）の被保険者</p> <p>定期健康診断の項目に、腹部エコー・肺機能検査など人間ドックの検査項目と同等の詳細な項目を追加し、提携医療機関で受診いただきました。</p> <p>※がん検査項目は（胸部・肺・胃部・大腸・婦人科） 対象者：1,608人/受診者：1,341人 ※うち通常の定期健康診断に変更者63人</p>	<p><対象> 被扶養配偶者、40歳以上の被扶養者と任意継続加入者</p> <p>被扶養配偶者、ならびに40歳以上の被扶養者と、任意継続加入者を対象に実施。疾病の早期発見・治療につなげるため、40歳以上の方は3歳刻み（73歳まで）の節目健診を導入。かかりつけ医紹介を含む受診サポートと、パート先などでの受診結果送付依頼も行いました。</p> <p>対象者：1,445人/受診者：818人</p>	<p><対象> 健診結果で重症化リスクのある方</p> <p>健診結果の重症化リスク項目をもとに、看護師・保健師が医療機関の受診状況を確認の後、電話受診勧奨を実施。他にも生活習慣改善プログラムや二次健診の受診促進勧奨も行いました。</p> <p>対象者：1,456人 実績：555人</p>
人間ドック受診費用補助	婦人科検診補助	大腸がん郵送自己検診補助	医療費通知/ジェネリック差額通知
<p><対象> 40歳以上の加入者のうち希望者</p> <p>40歳以上の加入者のうち定期健康診断受診5カ月後の希望者を対象に実施。</p> <p>●健保負担上限金額 15,000円 ●受診対象期間（10月～翌2月）</p> <p>※人間ドック、肺ドック、脳ドック、胃内視鏡、大腸内視鏡 受診者：43人</p>	<p><対象> 女性被保険者・被扶養配偶者・40歳以上の被扶養者</p> <p>医療機関および、事業所での集団婦人科検診で実施。</p> <p>●受診対象期間（10月～翌2月） 集団婦人科検診7事業所 受診者：278人 償還払受診者：55人 ※節目健診・人間ドックなど、他の検診プログラムでの受診者は補助対象外（参考）健康診断での受診を含め検診受診合計：1,635人</p>	<p><対象> 被保険者・被扶養者の希望者</p> <p>被保険者・被扶養者の希望者を対象に実施。</p> <p>●受診対象期間（10月～翌2月） 利用者：101人 ※節目健診・人間ドックなど、他の検診プログラムでの受診者は対象外（参考）健康診断での受診を含め、検診受診合計：3,211人</p>	<p><医療費通知対象> 2020年1月～10月の医療費発生の方に年1回発送。</p> <p>●発送件数：6,654件 ※2021年度はWebサービス「KOSMO Web」で毎月通知に変更。 ※紙通知希望者には2021年1月～10月分を年1回発送。</p> <p><ジェネリック差額通知対象> 差額通知（3カ月分で500円以上の差がある方）。年2回実施。発送件数：871件</p>

■ 組合員の皆さまに、ご自身の健康状態の改善に取り組んでいただくための事業

特定保健指導	Under40/服薬者生活習慣改善プログラム	重症化予防プログラム	前期高齢者保健指導プログラム
<p><対象> 特定健診の結果、健康リスクが高まる可能性がある方</p> <p>国の基準に従い、特定健康診査で健康リスクが高まる可能性がある方に、動機づけ支援、または積極的支援を実施。</p> <p>※参加しやすいように期間を3カ月にし、選べるコースを追加。 申し込み時期により、完了迄に年度がまたがる場合があります。 2019年度分対象者280人 参加者247人 2020年度分対象者823人 申込数239人</p>	<p><対象> 健康診断の結果、40歳未満、服薬者の健康リスクのある方。</p> <p>40歳未満、服薬者の健康リスク対象者の重症化予防のため、専門家による新たな生活習慣改善プログラム。 2020年度の健康診断結果による対象者への実施は休止しました。</p> <p>●Under40 ●服薬者指導</p>	<p><対象> 健康診断の結果、糖尿病や脳・心血管疾患等の健康リスクの高まる可能性がある方</p> <p>健診結果に基づき、糖尿病および脳・心血管疾患重症化予防のため、専門看護師による保健指導を実施。直接面談、タブレット貸与、スマホ、電話を利用。</p> <p>●糖尿病重症化予防 参加者：6人 ●脳・心血管疾患発症予防 参加者：6人 ●オンライン禁煙プログラム 参加者：36人</p>	<p><対象> 前期高齢者（65歳以上）の健康リスク対象者</p> <p>前期高齢者前の方を含め、健康リスクを感じている方を対象に、重症化予防のため、専門家による生活習慣改善プログラムを実施。</p> <p>●60歳以下の希望者にも実施。 ●ロコモフレイル予防ポケットセラピストプログラム 参加者：74人</p>

■ 組合員の皆さまの健康増進にお役立ていただくための事業

kencom	家庭用常備薬の割引回転	「みんなで歩活」ウォーキングイベント	スポーツ施設 法人会員
<p>健診結果、医療費情報チェックができ、一人ひとりに合わせたICT活用の「個人向けポータルサイト」です。楽しく健康習慣を身に付けるための情報提供を行っています。医師による健康相談サービス「first call」にも連携しています。 登録者：2,463人</p>	<p>組合員価格で郵送。郵送、FAX以外にホームページからはいづつでも申し込みができます。 郵便・FAX利用者：404人 WEB利用者：164人</p>	<p>健康増進のため、春と秋実施。2020年度の春はコロナ禍のため中止となりました。毎回参加者が増え、新たなランキング賞めざしチームで楽しく競っていただきました。 11月1日～30日：115チーム 713人 （うち労働組合30チーム 186人）</p>	<p>スポーツクラブ「ルネサンス」の法人会員利用案内を実施。マシントレーニング、スイミング、スタジオメニューなどがあります。コロナ禍の対策として、オンラインレッスンも加わり、無料レッスンの案内も実施しました。</p>

■ 組合員の皆さまに、健康に関する各種情報を提供するための事業

広報誌「santé」	ホームページNet-IPPO	健康相談	コラボヘルスによる健康経営サポート事業
<p>広報誌「健保だより(santé)」を被保険者には事業所へ、被扶養者用はご自宅に年2回送付。制度変更や予算・決算なども掲載。ウォーキングイベント結果や、健康白書のダイジェスト版を掲載し、家族みんなで健康意識を高めていただくきっかけとしています。</p>	<p>当健康保険組合のホームページを、インターネットを通じて公開。（スマホやタブレットでも閲覧可能） http://www.duskin-kenpo.or.jp/ ※年間41,651件（月平均3,470件）の閲覧利用</p>	<p>24時間・年中無休の電話健康相談を設置。 TEL 0120-860-647 医師と気軽にチャット相談ができる「first call」も、kencomのサイトを通じ利用いただきました。 ＜電話相談＞ 健康：121件 ころこ：19件 ※複数相談含む first call相談：55件</p>	<p>事業主・労働組合と三位一体のコラボヘルスにより、健康経営推進のサポートをしました。</p> <p>●健康白書の公表 事業所の働きさんの健康推移と各種取り組みの成果を分析し、目標値の進捗状況やデータヘルス計画に基づく結果を公表。組合員の皆さまには広報誌「santé」にてお知らせしています。</p> <p>●健康管理システム「すこやかサポート21」活用 事業主が健康診断の検査結果をクラウドシステムで一元管理し、事業主と健保が共有した情報をもとに双方で受診確認、受診勧奨を実施しました。</p> <p>●健康経営優良法人認定 健康経営優良法人を事業主が認定できるようサポートしました。 ＜認定事業所＞大規模法人：7事業所 中小規模法人：14事業所</p>

※保健事業の内容は、組合会にて毎年度決定いたします。「インフルエンザ予防接種補助」事業は2018年度をもって終了いたしました。

※「人間ドック受診費用の健保負担上限額」は2020年度は15,000円に変更となりました。